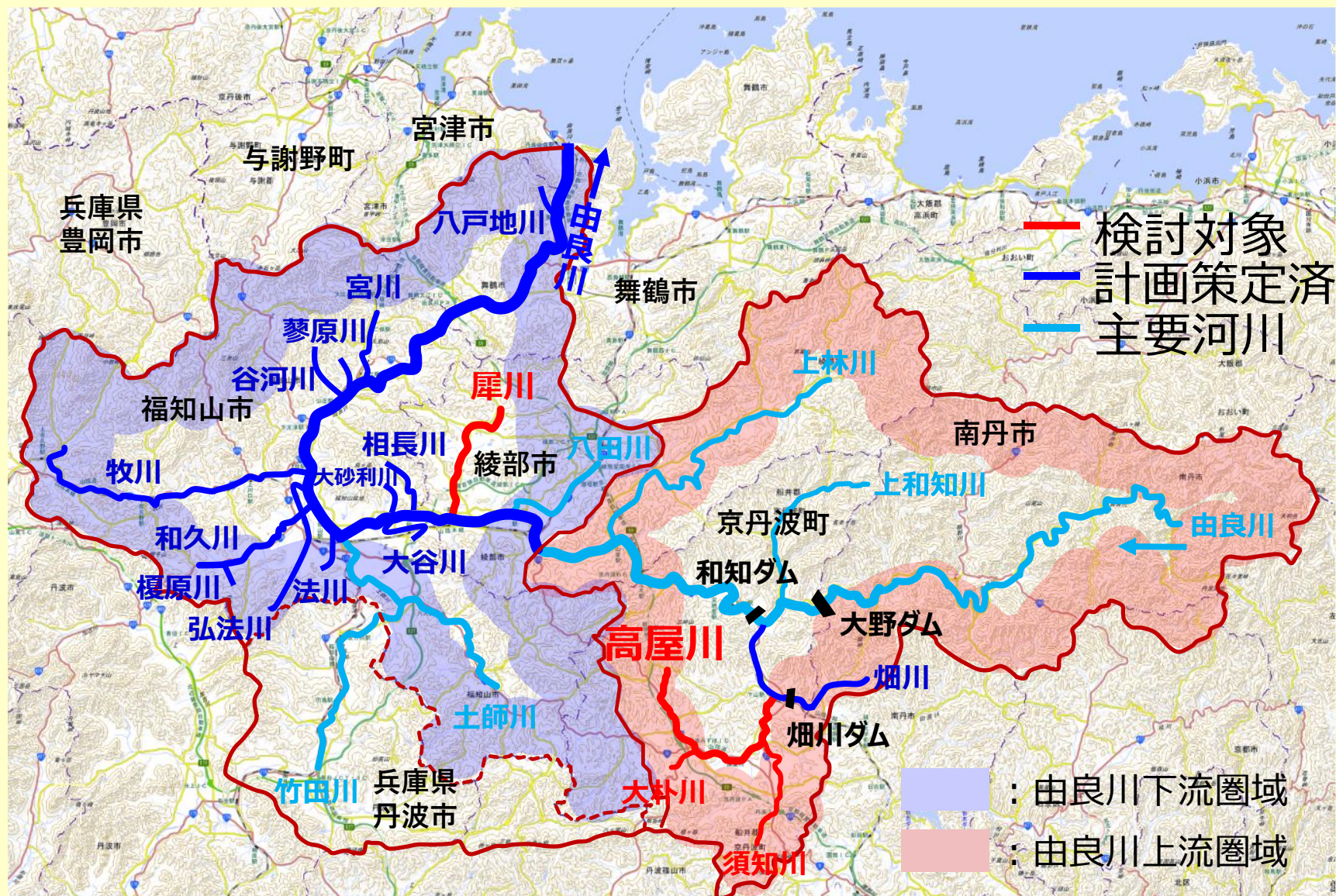


第37回由良川水系・二級水系 河川整備計画検討委員会

一級河川由良川水系由良川下流圏域
河川整備計画(変更原案)
のパブリックコメントの結果等について

令和7年10月31日
京都府

※対象圏域及び対象河川について



目 次

★ 一級河川由良川水系由良川下流圏域河川整備計画 (変更原案)のパブリックコメントの結果等について

1. パブリックコメントの実施概要
2. パブリックコメントの結果について
3. パブリックコメントに係る対応について
4. 関係機関事前協議の結果等について
5. 河川整備計画策定のスケジュール

★ 代替案と事業投資効果

1. 代替案の可能性
2. 事業の投資効果について

一級河川由良川水系由良川下流圏域 河川整備計画(変更原案)の パブリックコメントの結果等について

1.パブリックコメントの実施概要

■府民意見の募集

◇実施期間: 令和7年9月30日(火)～令和7年10月21日(火)《約3週間》

◇周知方法: 京都府公報による公示

記者発表(※綾部市でも同時資料配布を実施)

京都府ホームページへの掲載

◇縦覧場所 (12箇所)

京都府建設交通部河川課、南丹土木事務所、中丹東土木事務所

中丹西土木事務所、丹後土木事務所

[関係市町]

京丹波町役場、京丹波町役場瑞穂支所、京丹波町役場和知支所、

綾部市、舞鶴市、福知山市、宮津市

◇パブリックコメントに係る資料設置 (15箇所)

府民総合案内・相談センター、各広域振興局総合案内・相談センター

京都府府税事務所、京都府立京都学・歴彩館、京都府消費生活安全センター



配架の様子
(府民総合案内・相談センター)



配架の様子(中丹東土木事務所)

■関係機関との事前協議

◇協議先: 兵庫県土木部総合治水課

京都府関係部署(総合政策環境部、農林水産部、建設交通部、教育委員会)

関係市町(京丹波町、綾部市、舞鶴市、福知山市、宮津市)

2.パブリックコメントの結果について

■縦覧結果

◇府民意見: 46件(40名)

<参考>ホームページの閲覧者数

河川課	29
-----	----

※ 今回のパブリックコメント専用ページにおけるアクティブユーザー数



京都府ホームページ[意見募集ページ]

■府民意見

項目	主な意見	回答・対応方針
府民意見	<p><要望></p> <p>物部地区では平成30年、令和5年の2度にわたり堤防越水で床上床下浸水の被害が発生しました。住民が安心して生活できるように早急な対策を切望します。</p> <p>41件</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>河川整備計画の変更手続きを早期に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。</p>
	<p><要望></p> <p>今回越水した地点より上流合流点等に水量観測ポイントを設け、行政が常時状況を把握し、住民に避難対応等を提供出来る仕組み作りや住民が検索できることが必要である。</p> <p>1件</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>犀川流域では、雨量計を3箇所(小貝、物部、篠田)、水位計を1箇所(新庄)、河川防災カメラを1箇所(物部大橋)、危機管理型水位計を6箇所(小貝町、今田町、物部大橋、志賀郷町、新庄町、西方町)設置しております。リアルタイムでWeb公開しており、綾部市と連携して更なる周知に努めてまいります。</p> <p>パソコンやスマートフォン等を使用して以下のアドレスから閲覧することができる他、地上デジタル放送からも閲覧することができます。</p> <p>○京都府河川防災情報 (雨量情報、水位情報、ダム情報、河川防災カメラ、リンク集ほか) ホームページアドレス: http://chisuibousai.pref.kyoto.jp/</p>

3.パブリックコメントに係る対応について

■府民意見

◇今回越水した地点より上流合流点等に水量観測ポイントを設け、行政が常時状況を把握し、住民に避難対応等を提供出来る仕組み作りや住民が検索できることが必要である。

■対応(現状)

犀川流域では、雨量計を3箇所(小貝、物部、篠田)、水位計を1箇所(新庄)、河川防災カメラを1箇所(物部大橋)、危機管理型水位計を6箇所(小貝町、今田町、物部大橋、志賀郷町、新庄町、西方町)設置している。リアルタイムでWeb公開しており、綾部市と連携して更なる周知に努める。

パソコンやスマートフォン等を使用して以下のアドレスから閲覧することができる他、地上デジタル放送からも閲覧することができる。

○京都府河川防災情報

(雨量情報、水位情報、ダム情報、河川防災カメラ、リンク集ほか)

ホームページアドレス: <http://chisuibousai.pref.kyoto.jp/>



河川防災カメラ映像
(物部大橋: 平常時)



水位計水位グラフ
(新庄水位観測所
:R5/8/14 13:00-8/15 12:00)



地上デジタル放送



4. 関係機関事前協議の結果等について

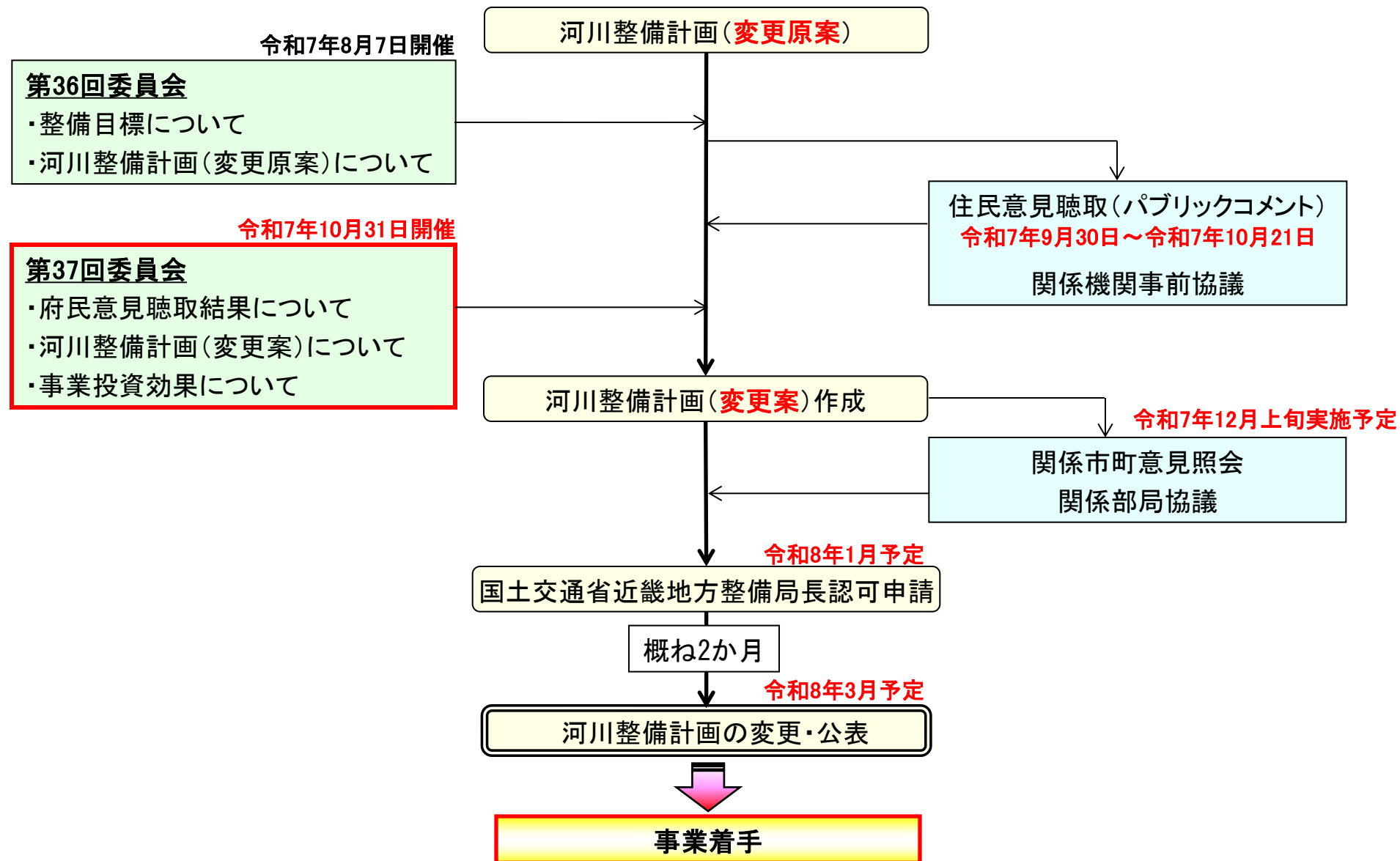
■ 事前協議結果(要望・意見)

内容	説明又は対応
<p><要望></p> <p>2. 1.11 犀川 河床掘削、築堤、護岸整備、橋梁架替及び井堰改築を行うとの記載があるが、その内容については、十分に地元住民にも説明・協議調整の上、進めていただきたい。 中でも井堰改築など、最終的な管理等を地元団体等が行うことが想定されるものについては、改築の手法(転倒堰方式、固定堰方式、揚水機など)について十分検討いただくとともに、引き受けられる地元団体等に事前に十分な説明(維持管理費用や修繕費について)を行っていただき、理解を得た上で進めていただきたい。</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>河道掘削等の実施に当たっては、事前に計画について、住民への説明及び協議調整を実施した上で、進めていきます。特に井堰改築にあたっては、改築の手法、維持管理について、地元団体等への説明を行った上で進めていきます。</p>
<p><意見></p> <p>計画に基づく河道掘削等のハード対策を実施する際は、既存の農業水利に影響が生じないよう配慮されたい。</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>河道掘削等の実施により、農業水利に影響が懸念される場合は、当該施設管理者等と調整の上、施工することとします。</p>
<p><要望></p> <p>本文P41「3.4 由良川下流域圏の健全な水環境に向けた取組」の4行目の「近年山が荒廃し、」を、「近年局地的な豪雨災害が多発し、これまでに山地災害の発生リスクが低いと考えられていた箇所では災害が発生し、」に変更されたい。</p>	<p><記載内容の変更あり></p> <p>本記述は山の保全と治水とのつながりについて記載したもので、ご指摘の案とおりに修正すると豪雨災害を起因とした山地災害に関する記述になってしまい、趣旨が異なる記載になっています。 また、山の荒廃については近年突発的に発生・増加したものではなく、これまでも問題となっている事項であることから計画案のとおり修正しました。 ⇒河川整備計画本文の記載を修正(P.40)</p>

4. 関係機関事前協議の結果等について

内容	説明又は対応
<p><意見> 1.1 圏域及び河川の概要 杉尾坂⇒杉尾峠ではないか</p>	<p><記載内容の変更なし> 国土地理院の地名に基づき、「杉尾坂」と記載しております。</p>
<p><意見> 1.1 圏域及び河川の概要 年平均気温及び夏季気温の数値変化はないか</p>	<p><記載内容の変更あり> 気象庁アメダスデータ(2024年・福知山観測所)に基づき、年平均気温を「14～15℃」から「16～17℃」に修正します。※夏季気温の修正はありません。⇒河川整備計画本文の記載を修正(P.1)</p>
<p><意見> 1.2.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する現状と課題 図1-2 今年度で魚つかみ大会と同開催のドラム缶レースが終了したが、引き続き本図を掲載されるのか</p>	<p><記載内容の変更あり> 現在の河川利用に合わせて修正します。(魚つかみ大会、凧揚げ大会の廃止) ⇒河川整備計画本文の記載を修正(P.9)</p>
<p><意見> 1.3.3 洪水等による災害の発生防止または軽減に関する目標 2行目(弘法川、法川内水対策) 実施する⇒実施した</p>	<p><記載内容の変更あり> 弘法川、法川の内水対策について、令和2年5月に概成したことから、「1.3.3 洪水等による災害の発生防止または軽減に関する目標」から「1.2.1 (1) 治水事業の経緯」に記載しました。 ⇒河川整備計画本文の記載を修正(P.4,5)</p>
<p><意見> 2.1.4 和久川 図2-10 和久川に合流しているのは大門川ではなく山崎川である。</p>	<p><記載内容の変更あり> 福知山市河川台帳より、普通河川大門川が準用河川山崎川に合流し、準用河川山崎川が和久川に合流しているため、ご指摘のとおり、修正します。 ⇒河川整備計画本文の記載を修正(P.19)</p>
<p><意見> 2.1.12 内水対策について 19行目(弘法川、法川内水対策) 実施する⇒実施した</p>	<p><記載内容の変更あり> 弘法川、法川の内水対策について、令和2年5月に概成したことから、「2.1.12 内水対策について」から「1.2.1 (1) 治水事業の経緯」に記載しました。 ⇒河川整備計画本文の記載を修正(P.4,5)</p>

5. 河川整備計画策定のスケジュール



《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
1	要望	<p>物部の犀川堤防の越水対策を切望します</p> <p>[内容] 物部地区では平成30年、令和5年の2度にわたり堤防越水で床上床下浸水の被害が発生しました。このような事がおきないように、住民が安心して生活できるように早急な対策を切望します。よろしくお願い致します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
2	要望	<p>物部の犀川堤防の越水対策を切望します</p> <p>[内容] 物部地区では平成30年、令和5年の2度、堤防越水で床上床下の大きな被害が発生しました。安心な生活のため早急な対策をお願いします。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
3	要望	<p>物部犀川堤防のかさ上げして下さい</p> <p>[内容] 物部地区では、2度の堤防越水で床上床下浸水等の被害にあいました。 安心な生活ををお願いします。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
4	要望	<p>物部犀川流域の早い越水対策をお願いします。</p> <p>[内容] 物部地区では、これまで2度の堤防越水で被害にあいました。 早急な対策をお願いします。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
5	要望	<p>物部の犀川堤防の越水対策を切望します。</p> <p>[内容] 物部地区では、2度の堤防越水での被害にあいました。 安心して生活できる様、早急な対策をお願いします。</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
6	要望	<p>物部の犀川堤防かさ上げして下さい。</p> <p>[内容] 物部地区では平成30年、令和5年の2度、堤防越水で床上床下浸水の大きな被害が発生しました。安心な生活のため早急な対応をお願いします。</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
7	要望	<p>物部のさい川堤防をかさ上げしてください。</p> <p>[内容] 物部地区では平成30年、令和5年の2度、堤防越水で床上床下浸水の大きな被害が発生しました。安心な生活のため早急に対策をお願いします。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
8	要望	<p>物部の犀川流域の1日も早い越水対策をお願いします。</p> <p>[内容] 物部地区では平成30年の災害時、消防団員が腰までの水位のなかゴムボートで取り残された高齢者1名の救出にあたりました。以後早めの避難に努めています。下市地区の橋梁改善、堤防のかさ上げで大きな被害を防いでください。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
9	要望	<p>物部の犀川流域の1日も早い越水対策をお願いします。</p> <p>[内容] 物部地区では平成30年、令和5年の2度、堤防越水で床上床下浸水の大きな被害が発生しました。安心な生活のため早急な対策をお願いします。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
10	要望	<p>物部の犀川堤防かさ上げしてください。</p> <p>[内容] 物部地区では平成30年、令和5年の二度、堤防越水で床上床下浸水の大きな被害が発生しました。安心な生活のため、早急な対策をお願いします。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
11	要望	<p>物部の犀川流域の1日も早い越水対策をお願いします。</p> <p>[内容] 物部地区では平成30年、令和5年の2度、堤防越水で床上・床下の大きな被害が発生しました。安心な生活のため、早急な対策をお願いします。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
12	要望	<p>物部住民が出水期も安心して日々の生活が送れるよう、犀川の越水対策を早期に実現して下さい。</p> <p>[内容] 物部地区では5年間に2度の越水被害が、同じ地区、同じ家・人で発生しています。越水被害は地域住民の努力等で防げるものではなく、行政のお力をお借りして、これからも地域住民が心穏やかに物部で暮らし続けられるよう、心からお願い申し上げます。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
13	要望	<p>台風等の豪雨で犀川の河川敷の堤防が越水する。</p> <p>[内容] 令和5年犀川堤防の復旧工事を1日も早く完成して下さい。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
14	要望	<p>物部地区犀川流域における堤防等の越水対策を願う。</p> <p>[内容] 物部地区において犀川流域で数年で二度も越水した。地域には高齢者も多く、地域消防団や、自治会の協力だけでは、避難や復旧がとても大変であった。近年の気候状況を鑑み、早急な対策が必要である。安心、安全な生活を送る為にも、堤防等の対策を願う。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
15	要望	<p>物部の犀川の堤防の越水対策を切望します。</p> <p>[内容] 物部地区では平成30年、令和5年の2度、堤防越水で床下浸水の大きな被害が発生しました。安心な生活のため早急な対策をお願いします。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
16	要望	<p>物部の犀川流域の1日も早い越水対策をお願いします</p> <p>[内容] 物部地区では平成30年、令和5年の2度にわたり、堤防越水で床上床下浸水の大きな被害が発生しました。 再びこのような被害に合わないよう安心な生活を送れるよう、早急な対策をお願い致します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
17	要望	<p>物部地域の犀川の堤防かさ上げや越水対策を切望します。</p> <p>[内容] 二度にわたる水害、被災者の方々のなんともやるせない思いと怒り。たまりませんでした。河川整備には時間と多額の費用が必要と思いますが、当面は被災地域の水害対策を重点に、抜本的には犀川流域住民が安心して暮らせる犀川整備対策をお願いします。綾部は議会に「由良川対策委員会」を設置し、推進した経験があります。この経験を活かし、地域住民や自治体が納得し賛同しうる対策と計画を心から切望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
18	要望	<p>早期の河川復旧、整備を強く希望する。</p> <p>[内容] 平成30年、令和5年と、犀川の同じ場所での豪雨災害は同じ箇所での堤防越水によるものでした。2度も越水するという事態堤防の嵩上げ整備が必要だと思います。又、部分的な河川整備により越水箇所への水流の当りが強まっていると思います。もうひとつの原因は、高屋橋による水流のせき止めと聞きました。現状の越水箇所に土のうを積んでの対策は、同じ様な豪雨がきた場合、高屋橋上からの越水は防げても、高屋橋付近で越水して、下市町筋は同じ様な被害を受けるのではないかと思います。原因を高屋橋と断定されているならその改善に向って処理を急いでほしいです。川底整備による堤防高さの確保及び堤防の嵩上げを強く要望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。</p>

</

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
20	要望	<p>行政の中心に据えるべき課題は住民の命や暮らしを守り、住民が安心して平穏な日々の暮らしや生業が営める強靱な地域社会・地域環境作りと社会基盤制度を確立することだと考えます。特に犀川河川改修の面では、そこに暮らす住民の暮らしや立場・目線に沿った思いを充分受け止めながら、地域の特性に合った、抜本的な河川の保全管理と改修・安全対策、橋や道路などを含め総合的な観点に立った施策を早急に推進していただくよう切に希望いたします。</p> <p>[内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近年、地球温暖化が原因といわれる局地的なゲリラ豪雨や広範囲での豪雨災害や大規模な土砂災害が全国各地で過去にない頻度で多発、甚大な被害が生じています。大規模な土砂災害は同時に下流となる河川の堤防決壊・橋梁崩壊・氾濫等広範囲で大規模な災害に直結、国民の命を守る資本でもある農地をも再起不能な状態に破壊する結果になっています。 2. 平成30年及び令和5年に由良川水系犀川流域、下市・上市地区内で同域内堤防越水、広範囲の浸水被害が立て続けに発生しました。しかし、遅々として進まぬ対策に住民は苛立ちと不安、そして同時に強い不信感を感じえません。先に記したように、行政の基本中の基本『国民・住民の命と暮らしを守る』が後回し、置き去りにされている思いを強く持たざるを得ません。糊付けしたような『取り敢えず施策』では今のこの時代の自然環境の激しい変動には対応できない事は充分ご承知の通りです。 3. 住民の切なる思いをいちばんに取り込み、優先順位をつけながらもその内容を適時分かりやすく明確に住民側に説明し、着実に強力に推進していただきたく思います。旧態依然の国・府・市それぞれの枠や壁を取り外して、総合的効率的に施策を強力に進めていただきたいと願います。 	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>本計画に基づき、詳細な測量・設計を実施のうえ、住民の皆様へ河川改修の内容を説明させていただき、その後、改修工事を進めてまいります。また、国・府・市で連携し、様々な施策により、流域全体の治水安全度を高めてまいります。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
21	要望	<p>平成30年、令和5年と犀川の同じ場所で豪雨災害により、多くの床上床下浸水が発生したため、早期の河川復旧整備を希望する。</p> <p>[内容] 堤防に土のうが積んである状態、住民生活の安心安全の為、早期の堤防の嵩上げ、高屋橋の架け替え、川底整備を強く要望します。とにかく早く対応して頂ける事を望んでいます。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。</p>
22	要望	<p>平成30年、令和5年に犀川の同じ場所で豪雨災害により、多くの床上、床下浸水が発生したため、早期の河川整備を強く希望する。</p> <p>[内容] 現在、堤防に土嚢が積んである状態です。住民の不安を払拭するため、住民生活の安心安全の為、早期の堤防の嵩上げ、高屋橋の架替え、川底整備を強く要望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
23	要望	<p>今後の豪雨災害をふせぐ為にも、早期の河川復旧及び整備をお願いします。</p> <p>[内容] 災害がおきてから、今だ、土嚢が積んである状態なので、住民生活を安定して下さい。 高屋橋の架け替え、川底整備を要望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。</p>
24	要望	<p>平成30年、令和5年と犀川の同じ場所で豪雨災害により、多くの床上、床下浸水が発生したため、早期の河川復旧、整備を強く希望する。</p> <p>[内容] 今なお堤防に土嚢が積んだままで私たちの不安を払拭するため、私たちの生活の安心安全の為、早期の堤防の嵩上げ、高屋橋の架け替え、川底整備を強く要望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
25	要望	<p>平成30年、令和5年の犀川の同じ場所での雨災害で、床上、床下浸水が発生し、避難を余儀なくされた。 早期の河川復旧、整備を強く希望します。</p> <p>[内容] 現在も堤防には土のうが積んである。いつ災害が起こるかわからない状態である。高齢者の住民の多い地域で、安心、安全のため ①早期の堤防の嵩上げ災害で破壊した ②高屋橋の架け替え(子供たちが生活している所なので、本当にあぶない) ③川底整備</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。</p>
26	要望	<p>豪雨での川の氾濫による床上、床下浸水があり不安なので氾濫防止を進めてほしい。</p> <p>[内容] 川底をキレイにしたり、土のうで防止できるのであればそこまでの堤防の高さ上げ、川底の砂利の整備をしてほしい。 また、川上の木のばっさい等土砂崩れの防止。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>また、山地や森林の管理も流域治水対策の一環として捉え、森林及び農地の管理、保全について、府民や土地所有者、関係機関との連携に努めます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
27	要望	<p>過去2回災害経験し、今なお土のうが積み置かれた状態です。景観が悪いだけでなく不安でしかありません。 堤防河川の整備を希望します。</p> <p>[内容] 昨今各地で災害級の大雨降る状況をニュースで見聞きする都度、年齢と共に体力はもちろん物心両面での対応は無理なので、3度目回避する為に、予算的に厳しいのは理解するも、早急に対応希望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。 今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
28	要望	<p>平成30年7月西日本豪雨の影響により、下市自治会内において犀川堤防越水による水害により住宅の床上・床下浸水が発生。 更には令和5年の8月豪雨により、またしても同等の水害が発生した。 府・市の協議により翌年越水災害箇所である堤防に170メートルにわたり3段土嚢が敷設され応急対応が実施されている現状である。</p> <p>[内容] 応急対応から2年が過ぎた。土嚢の設置により堤防の(生活路)使用ができないばかりか、今後の進捗が示されていない現状である。 高屋橋の改修問題も堤防改修問題も詳細が示されない状況である。府市の見解を示していただきたい。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。 今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。 また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。 本計画に基づき、詳細な測量・設計を実施のうえ、住民の皆様へ河川改修の内容を説明させていただき、その後、改修工事を進めてまいります。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
29	要望	<p>平成30年、令和5年の豪雨で床上床下浸水が発生しました。このような災害が起きない為にも早期の復旧整備を希望します。</p> <p>[内容] 今も堤防には土嚢が高く積まれて2年以上なり不安に思う。住民が安心して安全な生活が出来る為にも、早期の堤防の改修を要望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
30	要望	<p>「安全で安心して暮らせる下市地区に！」 気候変動による経験したことのない「一気大雨」に伴い、堤防を越える(越水)洪水のないように堤防の改修をお願いします。</p> <p>[内容] この5年間に2回ともあわや床上浸水というところまでの被害を受けた住民の一人です。以後、大雨や台風のたびにヒヤヒヤ、ドキドキし心身をすりへらしています。2回目の時は市からの避難開始もない段階にて水が押し寄せ、家から逃げることも出来なく、また、床上まで水が来るのではないかと気が気であり、一睡も出来ずクタクタでした。あと片付けや復旧はご存じのとおり、心身のみならず、費用の面でも……。 正直転居も考えました！ とにかくにも「堤防の改修」を一日も早く実現していただき“安心な暮らし”をさせてください。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
31	要望	<p>近年、2度にわたる水害により床上浸水が発生しました。早期の対策を希望します。</p> <p>[内容] 現在、堤防に土のう袋が積んであります。そのため家の裏の駐車場に車が入らず、やむなく家の前の路に駐車(3台)しています。 通行する車両に迷惑になっています。 堤防の嵩上げ等含め早期の対応をお願いします。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>
32	要望	<p>平成30年、令和5年と豪雨災害により、数多くの世帯にて床上、床下浸水が発生したため、世帯は少ないものの、子育て世帯も増えてきており、新旧の住宅が混在するエリアになりつつあるなか、毎回の豪雨で怖い思いを持ちながら生活しているなか、河川復旧工事土のうを並べるだけの整備。地方地域の疎外感を感じます。</p> <p>[内容] 今現在、堤防の土のうはそのままの状態であり、草も生え、災害のキズあとを残したまま不安は払拭せないまま、生活に不安をもっています。 早期の嵩上げ、高屋橋の架け替え、災害に対応した整備を強く要望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
33	要望	<p>平成30年、令和5年と犀川の同じ場所で豪雨災害により、多くの床上床下浸水が発生したため、早期の河川復旧、整備を強く希望する。</p> <p>[内容] 今なお堤防に土のうが積んである。住民の不安を払拭するため、住民生活の安心安全のため、早期の堤防の嵩上げ、高屋橋の架け替え、川床整備を強く強く要望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>なお、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。</p>
34	要望	<p>平成30年、令和5年と2回も犀川の同じ場所で豪雨災害により、多くの床上・床下浸水が発生したため、早期の河川復旧、整備を強く希望する。</p> <p>[内容] 5年間に2回も豪雨災害が発生したのに、今なお工事も開始されず、堤防に土嚢が無造作に積んである状態である。 住民の不安を払拭するため、住民生活の安心・安全の為、スピード感をもって早期の堤防の嵩上げ、高屋橋の架け替え、川底整備を強く要望します。 犀川高屋橋の下流で2回の災害により、川底に大量の土砂が堆積しており、これも災害の要因の1つであり、5年に1回程度の定期的な浚渫工事を必要であり、京都府はもっと現場に足を運び現状を把握するよう要望する。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。</p> <p>なお、浚渫については、堆積が著しい箇所から計画的に実施しているところであり、犀川においては、今年度、新庄町地内など4箇所の浚渫工事を予定しております。</p>

</

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
37	要望	<p>平成30年、令和5年と同じ場所で豪雨災害により、多くの床上・床下浸水が発生したため、早期の河川復旧・整備を強く希望する。</p> <p>[内容] 平成30年と令和5年に発生した豪雨による犀川越水により下市地区では、多くの住宅の床上・床下浸水被害を受けました。 令和5年豪雨災害から2年以上経過しましたが、今なお堤防に土嚢が積んであり、応急処置の状態が続いております。 近年全国各地で多発するゲリラ豪雨や線状降水帯豪雨などによる災害が懸念され、地域住民は大変な不安を抱いている状況にあります。 特に平成30年の水害後の対応策が十分機能せず、令和5年に同じ場所で被害を受けた事については、住民から不安と不信の声が多く聞かれます。 つきましては、安心・安全な町づくりと町民の生命財産を守るため、犀川に係る水害対策工事(早期の堤防の嵩上げ、堤防脆弱箇所改修工事、高屋橋の架け替え、川底の浚渫整備、物部大橋等々)の早期着工を強く要望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。 今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。 また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定、また、現在通行止めとなっている物部大橋については、今後、綾部市が撤去工事を行う予定にしております。</p>
38	要望	<p>河川整備計画がどのようなになっているのか？土嚢積み以降の計画が一切見えない。説明会等を開き説明してほしい。</p> <p>[内容] 2年前の越水による被害で、行政として対応したのは下記の2点である。①高屋橋上流の兩岸への土嚢積み②物部大橋の通行禁止これにより、高屋橋上流からの越水対応はできたかもしれないが、高屋橋からの越水、下流からの越水対策ができたとは思えない。あるいは、高屋橋からの越水、下流からの越水は無いと判断しているのであれば、その根拠を示して欲しい。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>ご指摘の対応については応急対応であるため、今後改修工事を行う必要があります。 今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。 また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。 本計画に基づき、詳細な測量・設計を実施のうえ、住民の皆様には河川改修の内容を説明させていただき、その後、改修工事を進めてまいります。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
39	要望	<p>堤防に嵩上げをして欲しい。当然高屋橋の架け替えは不可欠。</p> <p>[内容] 越水対策としての土嚢積みは緊急措置であり、それが2年も放置されている。本来、堤防は生活道の一部であり、高屋橋下流も含めた堤防の嵩上げが不可欠だと思う。</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高ー余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p> <p>また、高屋橋については、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、架け替えを予定しております。</p>
40	要望	<p>高屋橋下流の水の流れを防げるものの撤去。</p> <p>[内容] 先ずは下記の2点が必要と考える。 ①現在、通行禁止の物部大橋の撤去・架け替え ②旧前田用水したの岩盤の取り除き</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>①現在、通行止めとなっている物部大橋については、今後、綾部市が撤去工事を行う予定です。</p> <p>②旧前田用水下の岩盤については、犀川・西坂川合流点付近の岩盤と推察しますが、今後詳細な測量・設計を実施のうえ、必要に応じ除去等を実施してまいります。</p>
41	要望	<p>犀川の浚渫工事を定期的之して欲しい。</p> <p>[内容] 単に川底を平らにするのではなく、堆積した土砂の搬出をしないと、結果として越水につながる。</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>浚渫については、堆積が著しい箇所から計画的に実施しているところであり、犀川においては、今年度、新庄町地内など4箇所の浚渫工事を予定しています。</p>

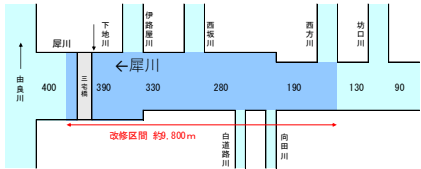
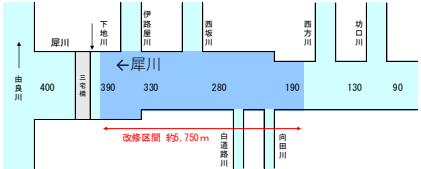
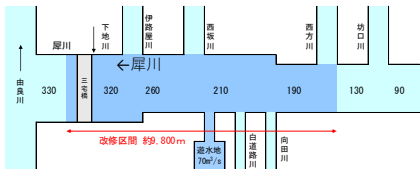
	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
42	要望	<p>今回越水した地点より上流合流点等に水量観測ポイントを設け、行政が常時状況を把握し、住民に避難対応等を提供出来る仕組み作り</p> <p>[内容] 2回の越水は何方も夜間であり、電話で越水したとの連絡があり、その時は既に床下浸水であった。 2年前はその兆候には感づいていなかった。 上流に水量観測ポイントを設け、把握した内容を住民に連絡する仕組みや、住民が検索できることが必要である。 緊急のサイレンがあるが、音量が小さく役に立たない。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>犀川流域では、雨量計を3箇所(小貝、物部、篠田)、水位計を1箇所(新庄)、河川防災カメラを1箇所(物部大橋)、危機管理型水位計を6箇所(小貝町、今田町、物部大橋、志賀郷町、新庄町、西方町)設置しております。リアルタイムでWeb公開しており、綾部市と連携して更なる周知に努めてまいります。</p> <p>パソコンやスマートフォン等を使用して以下のアドレスから閲覧することができる他、地上デジタル放送からも閲覧することができます。</p> <p>○京都府河川防災情報 (雨量情報、水位情報、ダム情報、河川防災カメラ、リンク集ほか) ホームページアドレス:http://chisuibousai.pref.kyoto.jp/ 緊急のサイレンの音量については、設置している綾部市に情報提供させていただきます。</p>
43	要望	<p>今後、豪雨により越水し、水害の可能性があるので、生活の安全を重視した対策を希望します。</p> <p>[内容] 土のう部の早期堤防の着工及び下流においての堤防の嵩上げを希望します。</p>	<p>＜記載内容の変更なし＞</p> <p>河川整備計画の変更手続きを令和7度中に実施して、関係機関等と連携を図り、本計画の事業(河道掘削、築堤、橋梁架替等)を早期に着手したいと考えております。そのため、令和8年度から工事に必要となる現地の測量を行う予定です。</p> <p>今回の整備に伴い、10年確率規模の降雨による洪水をH.W.L(堤防天端高一余裕高)以下で流下することが可能となります。なお、平成30年7月豪雨及び令和5年台風7号と同規模の洪水については、H.W.Lを超えるものの、堤防天端高以下で流下させることが可能となり、人家浸水被害を解消できます。</p>

《参考》パブリックコメントの結果等について(詳細)

	種別	質問・意見(原文ママ)	回答・対応方針
44	要望	<p>①灌漑樋門の改修</p> <p>[内容] ①犀川館町地内の猫橋上流に灌漑目的で設置している樋門の油圧装置が故障し、樋門の機能を果たしていない。 この樋門を利用して耕作している今田、小西、館、石原の各自治会は水稻の生産に支障をきたす事態となっている。 特に本年は水不足の影響で耕作障害が発生し、農業経営に実害を被った。回収経費に1000万円以上が必要となることから、犀川改修に関わって、特段の援助をお願いしたい。またこの樋門の機能不全の影響で、館町自治会が設置している揚水ポンプについても、水位低下により機能発揮が出来ない状況になっています。喫緊の課題として対応をお願いしたい。</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>樋門の故障に関しては、綾部市や関係部局に情報提供をさせていただきます。 なお、河川改修にあたり支障となる取水施設の取り扱いについては、今後、地元、市と協議したいと考えております。</p>
45	要望	<p>②由良川と犀川の合流点対策</p> <p>[内容] ②由良川整備計画で、合流点の堤防を嵩上げし、本川からの水害防止に努めて頂いているところであるが、豪雨時に由良川本川の水位が上昇すると犀川からの本川への流入が停止する。この影響で犀川への流入が停止する栗揚地内では豪雨時に民家が床下・床上浸水する事態が度々発生しています。対策として、犀川に強制排水するためのポンプの設置を強く望みます。</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>由良川等の水位上昇による内水の氾濫対策については、由良川沿川における共通の課題と考えており、現在、国・府・市で連携しながら、順次進めているところです。</p>
46	要望	<p>③推進組織の設立</p> <p>[内容] ③犀川流域の豊里、物部、志賀郷に加え影響が勘案される中筋連合自治会の4連合自治会による「(仮称)犀川整備促進協議会」を設立。情報共有を図るとともに、整備促進に関する要望活動などを実施します。</p>	<p><記載内容の変更なし></p> <p>地元での整備促進協議会設立の話は、府としても大変ありがたいと考えており、河川改修工事の早期着手・完成を目指し、引き続きご協力をお願いしたいと考えております。</p>

代替案と事業投資効果について

1.代替案の可能性

		① 河道掘削案	② 河道拡幅案	③ 河道掘削+遊水地案	
改修概要※		最深河床高見合いで河床高を切り下げ河道掘削し、全量を河道で対応する案 河床を概ね0.8m掘り下げる。	河道拡幅を行い、全量を河道で対応する案 現況の河床高を目安に、現況の川幅から概ね5～15m拡幅する。	遊水地で洪水の一部をカットし、残りを河道掘削で対応する案 ・河道：河床を掘り下げる。 ・遊水地：物部地区上流（左岸） 貯留容量22.2万m ³ 洪水調節量70m ³ /s	
流量配分					
社会的影響	用地買収	・ほとんど影響は無い。 （築堤等により部分的に必要な場合がある。） ○	・広範囲にわたって用地取得および家屋や施設等の移転が必要となる。 ・補償物件：約40戸 △	・広範囲にわたって遊水地整備のための用地取得が必要となる。 （A=約11ha） △	△
	交通（橋梁）	・河道掘削により、複数の橋梁が架け替え対象となり、工事中は交通面などの社会的影響が大きい。 （橋梁架替：16基） △	・河道拡幅により、複数の橋梁が架け替え対象となり、工事中は交通面などの社会的影響が大きい。 （橋梁架替：11基） △	・河道掘削により、複数の橋梁が架け替え対象となり、工事中は交通面などの社会的影響が大きい。 （橋梁架替：16基） △	△
	環境	・河道内の改変に伴い、瀬淵・水際環境等への影響がある。 △	・河道内の改変に伴い、瀬淵・水際環境等への影響がある。 △	・河道内の改変に伴い、瀬淵・水際環境等への影響がある。 ・遊水地で大規模な掘削が必要で、地下水を含め、周辺環境への影響の恐れがある。 △	×
維持管理		・堤防等は広域的な管理が必要であるが、維持管理は比較的容易である。 ○	・堤防等は広域的な管理が必要であるが、維持管理は比較的容易である。 ○	・遊水地と周囲堤等の維持管理が必要となる。 ○	△
施工性		・河道内で全て対応するため、大きな支障は無い。 ○	・拡幅する際に、近接する施設や構造物等への配慮が必要となる。 △	・遊水地整備箇所の地盤が軟弱な場合は、安定性確保のために地盤改良が必要となる。 △	△
工期		・橋梁架け替えや堰改築が必要となるため、一定の期間を要するが、他の案と比べて短期間での対策が可能である。 ○	・橋梁架け替えや堰改築が必要となるため、一定の期間を要する。 ・家屋移転が多いため、用地取得に相当な期間を要することが想定される。 △	・橋梁架け替えや堰改築が必要となるため、一定の期間を要する。 ・遊水地の用地取得や土地利用について、地元の理解と協力を得るために相当な期間を要することが想定される。 △	△
経済性（概算事業費）		約 87 億円 ○	約 101 億円 △	約 111 億円 △	△
判定		○	×	×	

※3案に共通の改修内容として、堤防高不足箇所における築堤が必要

2.事業の投資効果について

河川名	整備内容		費用対効果		
	整備目標	メニュー	B 総便益 (億円)	C 総費用 (億円)	B／C 費用対効果
犀川	年超過確率1/10規模（概ね10年に1回程度で発生する降雨規模）の洪水を安全に流下させる	河道掘削 築堤 橋梁架替 井堰改築	103.0	39.6	2.6

※治水経済調査マニュアル(令和7年7月版)に基づき算定

【総便益 B】

総便益B＝(評価期間における年平均被害軽減期待額の総和+評価期間末における残存価値)を現在価値化したもの。

- 年平均被害軽減期待額:事業を実施することにより毎年どの程度被害の軽減ができるかを金額で表したもの。
- 残存価値:評価期間終了後の整備した施設の価値
- 評価期間:整備期間+施設完成後から50年

【総費用C】

総費用C＝各評価時点の(事業費+維持管理費)の総和を現在価値化したもの。

- 事業費:施設の整備に係る工事費、整備に付随する工事(橋梁架替や井堰改築等)に係る費用、整備にあたり必要となる用地の取得や移転補償などに係る費用の合計
- 維持管理費:堤防などの治水施設の点検や修繕等の維持管理に係る費用
- 治水経済マニュアル(令和7年7月版)に基づき、工事諸費及び消費税は除いており、現在価値化した費用であることから、P.32の概算事業費(87億円)とは整合しません。